

びわこ大なまず通信

第4号

平成17年4月1日

びわこ惑惑クラブ

「これからのびわこ惑惑クラブ」

主将 前田 隆



どうも最近、試合結果が芳しくない。勝ち負けは、二の次と言ってもみんなそう思っているのではないかな。

毎週土曜日、雨の日も雪の日もまた炎天下の中で、頑張っているのに。

これは、自分の思いであるが、大学・社会人チームで活躍した人、またここで初めてラグビーボールを触った人など様々であるが、ひとつ言えるのは各個人のレベル、経験の差が違いすぎることである。

何故反応しないのか、これくらい出来ないのか、腹立たしかった時期もあったが。

だから、これからはもっと基本に忠実なプレーを心掛けていこうではないか。

相手より一歩でも速くポイントに行く。ボールを持てば一歩でも前へ行く。自分を殺してでもボールを生かす。一人目が見つめれば、二人目はボールを殺しに行く。相手の2倍、3倍走るスタイル。

試合の後、『びわこさんはみんなよく走りますねえ』と言われるくらい。

練習では、一歩でも二歩でも真剣に多く走ろう。

各人が練習で燃えて、試合で燃えれば、試合後はすがすがしい。

後はうまい酒がみんなで飲めるはずである。

主将の任期も後1年であるが、精一杯頑張るのでよろしくお願ひします。
(お互いケガには注意しましょう)



雪の中の寝屋川クラブ戦 (H17.3.13)



園山グラウンドでの練習風景 (H17.1.3)

雑感 「飛躍」

赤パン 西岡 信夫



「ラグビーは少年をもっとも早く男にし、男にいつまでも少年の心を抱かせるスポーツである」(元フランス代表キャプテン 世界一のフランカー ジャン・ピエール・リーブ) の言葉にあるように、ラグビーは年代を問わず魅力あふれるスポーツである。

翻って、今日の子どもたちを巡る悲惨な事件・事故が多発している現状に、我々大人は手をこまねいていいのか。

我が惑惑クラブは、自分の楽しみの追求のみならず、これまでのラグビースクールの指導に加え、近年中学生と合同練習を積極的に行なうなど、地域とのつながりを含め子どもたちと活発に交流している姿は、まさに大人たちに期待されている一面を率先して実行しているものであり、結成10数年を経て、一段と成長したクラブになったのではないかな。

今後は、さらなる「飛躍」を求め、サークル的活動から組織立った姿(非営利活動法人等)に衣替えし、5年先、10年先を見据えた中で、時代を担う子どもたちの健全な育成もサポートする団体として、活動出来れば最高だなあ。

と思っている。

H17年1月以降の試合結果

広報担当

試合日	対戦相手	場所	試合結果
H17.1.9	惑惑クラブ	亀岡運動公園	西京都+びわこ 36-88 惑惑ク
2.6	城北クラブ	大坂舞洲公園G	どんぐり+びわこ 56-99 城北ク
3.13	寝屋川クラブ	希望が丘球技場	びわこ 34-58 寝屋川ク

前田主将の言葉どおり、残念ながら年明けてからの戦績は全敗である。

好きな酒も確かにまずい。練習しておいしい酒を飲もう！

新会員の紹介



長沢 和男 (S7.8.23生): 黄パンツ
ポジション: BK

桜の便りが間近い。びわこ大なまず通信を発行して早くも1年が経過したが、メンバーの皆さんの投稿で何とか続けてきた。今後もぜひ投稿をお願いしたい。楽しい情報発信紙にしたいと思っている。次月号は大物メンバーの記事を予定しているのでお楽しみに。

良い企画があればそうっと耳打ちを。

広報 松田